

平成21年1月分

日本一相手を元気にする挨拶をする会社になる。

新年あけましておめでとうございます。年末年始にかけてマスコミでは100年に1度の金融不況と報道し、またトヨタ自動車をはじめ派遣社員の途中契約解除で、失業者が巷にあふれているニュースが連日流れています。私達中小企業では介護とか飲食業、製造業等では人手不足です。日比谷公園に行く人達が中小企業に求むれば就職先はいっぱいあるのでは無いかと思っています。会計事務所目線で世の中の変化を見るとやはり中小企業でも売上は減少傾向にあります。売上減少による資金繰りに苦しむ会社は増えています。国の緊急保証制度による無担保8千万円限度融資を勧めています。返済期間が10年というのが魅力です。この自に建て直しをはかり健全な財務体質の会社にしていきます。稲盛和夫さんは本の中で、不況に対する中小企業経営者の質問に「GDPは減っていくかも知れないが、中小企業には全く影響しない。我々中小企業の仕事なんてGDPの何十分、何百分の1にすぎないんだから、何も心配ない。つまりそれ以外の会社の業績は、やり方次第でいかに先もまた、いくつでも伸ばすことができる。要は経営者の努力次第。正しい判断基準を持ち、挑戦心失わずに努力精進。おのづと道は開ける。私は信じています。」と書いておられます。また松下幸之助さんは「不況克服の心得十ヶ条」を書いておられます。添付しておきます。

どんなに不況でも我々中小企業は生き残らなければなりません。日本では200年以上続いている企業が3,100位あると云います。2位ドイツ800社。3位オランダ200社で日本はドイツの1位です。その共通点は5つあり①勤勉②正直誠実③儉約④堪忍⑤知足です。社員と家族のために生き残る方法を我々古田土会計と共に実行していきます。お子伝えます。まあどんなときでも足許を固めることです。世の中が不況であるときほど会社を明るくしなければなりません。社長をはじめ全社員が明るく元気に仕事をする社風を作ることは無いでしょうか。古田土会計で実践している挨拶を詳解します。私(古田土)は朝6:45分頃出社して社員を迎え入れます。挨拶はお互いに名前を呼んで明るく元気で大きな声でします。私の机は入口の受付の隣にあります。社長室はありません。ここにすると全社員と全のお客様に挨拶が出来ます。そして挨拶した後にお互いに手を握り笑顔でプラスの言葉を言います。例えは「今日一日元気に仕事(まじょ)」「今日もワクワク仕事(まじょ)」とかです。お互いに手を握り合ふと必ず目と目が合います。目と目が合ったときに最高の笑顔でプラスの言葉とプラスの態度を見せると相手の方が元気に存ります。毎日100人以上の社員とこれをやると相手方はなく自分自身が元気に存ります。全社員が毎日100人以上を元気にすると、明るく、元気な社風が出来ます。会社に求むのが楽しく存ります。会社に来ると元気に存ります。私達のビジョンは日本の中小企業を元気にすることです。我々が元気に存って日本の中小企業をよくしていきます。私達の会社へ見学に来て頂けませんか。朝一緒に元気な挨拶をしませんか。そして会社へ帰って、相手を元気にする挨拶をしませんか。挨拶は毎日するものですが、社員一人一人が明るく元気に存ります。良い社風をつくるコツは毎日繰り返して行なうことを形にする事です。「ありがとうの連発」「感謝します」という言葉を意識的に使う。プラスイージで「プラスの言葉」を使う。「マイナス言葉」「活ない言葉」は使わない。等。会社は人自性を高める場所です。まずは朝の挨拶が思いやりのある(怒)社風の会社になります。

古田土 満